

平成31年度



白川小だより

第13号

令和2年3月24日(火)

白川小学校で学んだということを誇りに ～卒業おめでとうございます～

校長 奥村 哲也

コロナウィルス感染症予防のため、学校は3月2日から臨時休業となっています。突然のことでしたが、関係の皆様には、ご理解、ご協力をいただき、誠にありがとうございます。

その影響で、2月29日(土)に予定していた、授業参観、懇談会は中止となり、「6年生を送る会」のみを行いました。「6年生を送る会」では、在校生から6年生に感謝の言葉や出し物があった後、6年生から在校生に白川小学校の「伝統の心」が引き継がれました。白川小の宝である「あいさつ、ぼかぼか言葉、歯磨き、そうじ、読書、学び合い」は、在校生が受け継ぎ、さらに磨きをかけてくれることでしょう。

また、当日午後からの閉校式は、児童の参加がとりやめとなり、関係者のみで行われました。本来ならば式の中で、代表児童の榎間啓生さんが白川小学校の思い出を語る予定でしたが、かないませんでした。子どもたちの白川小学校への思いは、記念文集やPTA会報にまとめさせていただきましたので、ぜひそちらをご覧ください。

さて、こうした中、3月25日(水)に卒業式を挙行します。練習がなく、在校生もいない卒業式となり、6年生には申し訳なく思います。

今年の6年生とは、2年間、この白川小学校で一緒に過ごしました。出会った頃は、まだ幼さの残る5年生でしたが、今年度になって、立派なリーダーとして成長してくれたことをとてもうれしく思っています。運動会では、白川小学校最後の年として精いっぱい競技、演技、応援をしようと、準備から当日まで、全校の要となって取り組んでくれました。プログラム最後の「白小ソーラン」で、魂を込めて力強く舞う姿に感動しました。また、大山白山神社への全校遠足では、1年生の手を引いて坂道を登るやさしい姿がありました。印象に残っているのは、8の字跳びの取り組みです。人数が少なく練習が大変そうだったので、「縄回しを先生に手伝ってもらったらどうか。」と声をかけたところ、「自分たちでやり切ります。」と力強い言葉が返ってきました。縄跳び大会当日、6年生は8人でやりきりました。

そんな、心温かくたくましい6年生が、卒業します。6年生のみなさん、卒業おめでとうございます。また、在校生もこの4月からは新しい白川小学校で学ぶこととなります。新たな世界へ旅立つ子どもたちが、ここ白川小学校で学んだということを誇りとし、自信をもって堂々と歩いていってくれることを願います。

最後になりましたが、保護者、地域、関係の皆様には、これまで、白川小学校の教育にご理解とご支援を賜りましたこと、深く感謝申し上げます。そして、私たちの活動をいつも見守ってくれたこの校舎に、グラウンドに、樗に…ありがとうございました。今後も、白川小学校を温かく見守ってくださるようお願いいたします。



2020.02.29「6年生を送る会」にて